

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘学校	校長	中坊 京子	担当者名	河本 春彦
取組事例名 『人間関係作りトレーニング』					
生徒指導に係る連携体制の確立	○	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話		主体的な活動を通じた絆づくり	
取組における育てたい資質・能力					
(1) 「自ら考え主体的に判断し，学び続けようとする生徒」 (2) 「自分を信じ，自己決定できる生徒」 (3) 「自分を大切にし，互いに助け合える生徒」					
取組のねらい					
「社会性（人間関係能力）と情動の育成」⇒個が育つ集団づくり ① 自己への気づき・他者への気づき ② 自己のコントロール ③ 責任ある意思決定					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>1. 年間5回の実施（5月・6月・9月・11月・1月）</p> <p>2. 1回目の前に事前に全学年オリエンテーションの実施</p> <p>3. 最終の5回目が終了した段階で2月に振り返りの実施</p> <p>4. S S T責任者，各学年にS S Tの担当者を決めて学年会等でその都度実施に向け計画案を提案していく。</p> <p>5. 各学年の生徒の実態を踏まえて，時期，行事，部活の大会等に関連した内容を厳選して内容項目を検討していく。</p> <p>6. 授業の進め方は，導入・説明⇒話し合い⇒モデリング⇒ロールプレイ⇒振り返り・まとめ⇒次の学習場面や日常生活への展開</p> <p>7. SEL8-Sの確認と実践</p> <p>*学習領域：①基本的な生活習慣②自己，他者への気づき，聞く③伝える④関係づくり⑤ストレスマネジメント⑥問題防止⑦進路⑧ボランティア</p> <p>*社会的能力：①自己への気づき②他者への気づき③自己のコントロール④対人関係⑤責任ある意思決定⑥生活上の問題防止のスキル⑦人生の重要事態に対処する能力⑧積極的・貢献的な奉仕活動</p> <p>※以上の社会的能力と学習領域との関係から生徒の資質，能力を探り，S S Tの授業を通して生徒個々の変容を見ていく。</p> <p>※1年間を通して振り返りシートから社会的能力の8項目を5点満点で点数化して最終的にグラフ化して変容を見取っていく。</p> <p>※教員が，S S Tの目的や具体的な内容，指導方法について学ぶための校内研修会を実施する。</p>			<p>① 全学年学活において同じ時間に実施する。</p> <p>② 1時間1時間，教師資料やワークシート，教師用資料，指導案を準備して取り組む。</p> <p>③ 学校行事と関連性を持たせながら定期的にタイムリーな内容を選択して実施する。</p> <p>④ S S Tの授業だけではなく，日頃の授業や日常生活に生かせる工夫をしていく。</p> <p>⑤ 生徒に学ばせるだけではなく，教師自身がコミュニケーション能力を高めていく。</p> <p>⑥ 振り返りシートや社会的能力の8項目を資料に普段の教育相談の面談に利用したりする。</p> <p>⑦ データは次年度に繋げる。</p> <p>⑧ 授業とは別に日常で使える簡単なS S T集を各担任に配布して時間やタイミングを見てSHR等で実践する。</p> <p>※①時間を大切に②道具の管理③初対面での話④ストップいじめ⑤学校でのミニボラ等日常の中で活用する。</p>		
取組の成果と課題					
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの授業もコミュニケーション能力を高めるのに効果的であった。 ・人と人との接し方に関わる内容に効果的であった。 ・断り方など，人間関係を築くために必要なスキルを高められた。 ・意見や話の聞き方を学ぶことができた。 ・他者の思いを考えたりしようとする意欲が高まった生徒が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動にとどまらない関わり合いの場面の設定や生活場面での活用の定着と汎化を促す。 ・教師の継続的な意識化，言葉かけの活用の促進。 ・短期，長期的な視点からの取組の必要性。 ・年間計画の充実と組織的な運営のできる校内体制づくり。 					